

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名≪国語≫

※詳細については、資料Ⅱ(国語-5～国語-10)を参照

発行者の略称	東書	書名	新しい国語
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 「知識・技能」の習得に関して、言葉の使い方についての理解を深めながら語彙を広げる「ことばあつめ」が設定されている。</li> <li>□ 「思考力、判断力、表現力等」の育成に関して、単元ごとに学習を通じて育成する資質・能力を「言葉の力」として取り上げている。</li> <li>□ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、各学年の冒頭に年間の学習の見通しを持つ場面、適時に学習を振り返ってめあてを新たにしている場面を設けている。</li> </ul>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に掲げた、次の内容に沿っているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 「思いやる力」に関連して、命の大切さ、生命の尊厳について考えさせる題材が各学年ごとに取り上げられている。</li> <li>□ 「たくましく生きる力」に関連して、外国の生活や文化について知ることのできる題材やパラリンピックの題材を扱っている。</li> <li>□ 「社会とかかわる力」に関連して、海外と日本に着目した題材が6年間のうちに随所に取り上げられている。仕事や働く人に焦点をあてた題材がある。</li> </ul>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通部分≫</p> <p>○ 学習指導要領の改訂ポイントを踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 主体的・対話的で深い学びとなるように、単元の導入で、これまでの既習内容を想起させる「つかむ」を設定している。</li> <li>□ 第6学年の「町の未来をえがこう」、第2学年の「この人をしょうかいします」など、他教科との関連や地域との連携が図れる教材を取り上げている。</li> </ul> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 言語能力の確実な育成について、活動における基本的な進め方などを取り上げた「言葉の力」が全学年に設定されている。</li> <li>□ 伝統や文化に関する教育の充実について、昔話や食文化、伝統芸能など、複数の内容が設定されている。</li> <li>□ 体験活動の充実について、単元の終わりに「生かそう」が設定され、学習したことを実生活で生かすよう示唆されている。</li> <li>□ 学校段階間の円滑な接続については、第1学年の入門期は、言葉での表現を楽しむ活動から始まるよう設定されおり、第6学年では、「卒業を前に読んでほしい言葉」「六年間の学習をふりかえって」が掲載されている。</li> <li>□ 情報の扱い方に関して、第6学年では「情報を関係付けて活用する」など、各学年で情報の整理の仕方を具体的に示している。</li> <li>□ 第1学年では、文字の習得において、つまずきやすい、拗音、促音、長音を手拍子の図と記号で解説している。</li> </ul> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 学習の理解が深まるように、巻末に、読み物教材、学習で使う言葉、各巻の振り返り、前年度の学びなどが掲載されている。</li> </ul> <p>≪各教科・種目独自の観点≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 各領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の資質・能力を育成するために、教材文の後(ふり返り)のページに「生かそう」として、他教科、学活等の時間での言語活動例が記述されている。</li> <li>□ 語彙を豊かにするための題材として、各学年、さまざまな観点で言葉を集め、言語についての理解を深めながら語彙を広げる「ことばあつめ」が掲載されている。</li> <li>□ 読書活動の充実を図るために、「本は友だち」で本の紹介文を読んだ後に「〇年生の本だな」として、図書が複数紹介されている。</li> </ul>		
4 分量・装丁表記等	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 第1学年から第4学年までは上下巻の分冊、第5・6学年は1冊の合冊で編集されている。</li> <li>□ 「カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮しています」と記載されている。</li> <li>□ 「教科書用の書体を使用しています」と記載されている。</li> </ul>		

【資料Ⅰ】

教科種目名≪国語≫

※書名の表記は第6学年のものに統一

※詳細については、資料Ⅱ(国語-5～国語-10)を参照

発行者の略称	学  園	書  名	みんなと学ぶ 小学校 国語
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得に関して、単元の冒頭に活動の概要を一覧で提示し、見通しがもてるようにしている。</li> <li><input type="checkbox"/> 「思考力、判断力、表現力等」の育成に関して、身近な内容を題材とした言語活動を設定している。</li> <li><input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、各学年上、巻頭の「○年生でつきたい力」、巻末の「○年生をふりかえって」で1年間の学習内容を一覧で示している。</li> </ul>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○教育目標(めざすべき人間力像)に掲げた、次の内容に沿っているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 「思いやる力」に関連して、いのちの大切さ、生命の尊厳について考えさせる題材が各学年に取り上げられている。</li> <li><input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」に関連して、食育、国際化、情報化について学年で段階的に掲載している。</li> <li><input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」に関連して、仕事や働く人にかかわる作品や題材が随所に取り上げられている。</li> </ul>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通部分≫</p> <p>○学習指導要領の改訂ポイントを踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びとなるように、単元の最初に見通しや目的意識をもって学習に取り組めるように、学習活動を一覧で提示している。</li> <li><input type="checkbox"/> 第4学年の「クラブのしょうかいチラシを作ろう」など、教科横断的な視点を意識して、他教科での学習に生かせるような単元を設定している。</li> </ul> <p>○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 言語能力の確実な育成について、各学年で、レッスン「文章の書き方、まとめ方」のページが設けられている。</li> <li><input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、各学年ともに、教材の後に、学びを深めるための課題が掲載されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、実際に体を動かして感じたことをテーマに沿って書いたり、ある人物になりきって話したりする活動が設定されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、第1学年の入門期は、動物の挿絵の教材から導入し、第6学年では、6年間の国語の学習を振り返る活動が掲載されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 情報の扱い方に関して、図化・表化・イメージマップなどの思考を整理する方法が発達段階に応じて示されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 文章の内容をまとめたり、考えを整理したりするために、表の例示や構成を図で示している。</li> </ul> <p>○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 学習の理解が深まるように、巻末に「言葉の部屋」「読書の部屋」、読み物教材などを掲載している。</li> </ul> <p>≪各教科・種目独自の観点≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 各領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の資質・能力を育成するために、題材名の前に焦点化されたねらいが書かれている。</li> <li><input type="checkbox"/> 語彙を豊かにするための題材として、言葉で遊んだり表現したりする要素を取り入れている。</li> <li><input type="checkbox"/> 読書活動の充実を図るために、読書単元活動では、ブックトークなど、クラス全体で探究的な読書を行う内容が設定されている。</li> </ul>		
4 分量・装丁表記等	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 全学年、上下巻の分冊で編集されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 「できるだけ多くの人に見やすいように配慮して作成しました」と記載されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 「カラーユニバーサルデザインの校閲」と巻末の表紙裏に記載されている。</li> </ul>		

【資料Ⅰ】

教科種目名≪国語≫

※書名の表記は第6学年のものに統一

※詳細については、資料Ⅱ(国語-5～国語-10)を参照

発行者の略称	教出	書名	ひろがる言葉 小学国語
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得に関して、活動の流れや具体的な文例を掲載し、見通しをもたせている。</li> <li><input type="checkbox"/> 「思考力、判断力、表現力等」の育成に関して、各学年の「読む」学習では、児童が何について考え、表現するのか具体的な学びの観点を示している。</li> <li><input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、これまでの学習を振り返り、言葉がもつよさについて認識する学習を取り入れている。</li> </ul>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○教育目標(めざすべき人間力像)に掲げた、次の内容に沿っているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 「思いやる力」に関連して、命の大切さ、生命の尊厳について考えさせる題材が各学年に取り上げられている。</li> <li><input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」に関連して、自分の考えや情報を伝達するために様々な媒体を活用する題材が設定されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」に関連して、第2～6学年には、町のことや地域のことを調べる学習活動がある。世界遺産やA I、エネルギーなどの題材が掲載されている。</li> </ul>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通部分≫</p> <p>○学習指導要領の改訂ポイントを踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びとなるように、「単元のとびら」を主要な単元に設定し、「ふり返し」と連動した学習目標となる一文が示されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 第4学年の「リーフレットで知らせよう」や第2学年の「『生きものクイズ』を作ろう」など、他教科との関連を図る題材が設定されている。</li> </ul> <p>○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 言語能力の確実な育成について、学年の発達段階に応じて、時と場に応じて使えるよう項目ごとに分けた、巻末付録「言葉のまとめ」が掲載されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、各学年上巻・下巻共に「文化」として取り上げられており、児童の理解を助けるためのイラストや写真、解説文が添えられている。</li> <li><input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、他教科の学習と関連させることで、高学年でも学習を体験的に深められる内容が設定されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、第1学年は挿絵から児童の言葉を引き出すような構成で始まり、第6学年は、「中学生で学ぶ特別な読み方の言葉」で終わっている。</li> <li><input type="checkbox"/> 情報の扱い方に関して、学年の発達段階に応じて、必要な情報を取り出し、情報と情報の関係を整理するための語彙や文型が随所に示されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 全学年で、着目ポイントをキャラクターが話して示している。使用する色の数を少なくしてページを構成している。</li> </ul> <p>○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 学習の理解が深まるように、巻末には、「○年生で読みたい本」など、テーマごとに、図書が紹介されている。「言葉の木」などの題材や読み物教材が掲載されている。</li> </ul> <p>≪各教科・種目独自の観点≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 各領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の資質・能力を育成するために、日常生活や他教科の学習で応用できるよう、多様な言語活動例が随所に示されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 語彙を豊かにするために、文学的文章の後に、「言葉」のページを掲載し、教材の中に出てきた言葉を学習する構成となっている。</li> <li><input type="checkbox"/> 読書活動の充実を図るために、「読むこと」の題材の最終ページに、目標に対応する「ここが大事」(要点)とともに関連図書の紹介がされている。</li> </ul>		
4 分量・装丁表記等	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 全学年、上下巻の分冊で編集されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 「カラーユニバーサルデザインに配慮しています」と記載されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 「ユニバーサルデザインフォントを使用しています」と記載されている。</li> </ul>		

【資料Ⅰ】

教科種目名≪国語≫

※書名の表記は第6学年のものに統一

※詳細については、資料Ⅱ(国語-5～国語-10)を参照

発行者の略称	光村	書名	国語
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得に関して、単元の最後に指導事項のポイントをまとめた後、今後の学習でどのように学習したことを活かしていくのかを紹介している。</li> <li><input type="checkbox"/> 「思考力、判断力、表現力等」の育成に関して、「読むこと」の単元では、指導事項と言語活動、これまでに学習したことを扉に掲載している。</li> <li><input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、学習した内容のポイントを「たいせつ」とし、今後の学習や生活に生かすことを「生かそう」と提示している。</li> </ul>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○教育目標(めざすべき人間力像)に掲げた、次の内容に沿っているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 「思いやる力」に関連して、命の大切さ、生命の尊厳について考えさせる題材が、各学年に取り上げられている。</li> <li><input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」に関連して、「情報」のページがあり、情報の使い方や関連付けた伝え方などが学年に応じて示されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」に関連して、各学年では、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の題材に、学校や地域のことが取り上げられている。</li> </ul>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通部分≫</p> <p>○学習指導要領の改訂ポイントを踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びとなるように、各単元において見通しがもてるように学習過程を示したり対話的な学びの場面を具体的に提示したりしている。</li> <li><input type="checkbox"/> 第2学年の「かんさつ名人になろう」など、教科横断的な学習や学校行事と関連した学習に関する単元が設定されている。</li> </ul> <p>○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 言語能力の確実な育成について、何をどのように学習するのかを、学年の発達段階に応じた「学習の進め方」として示している。</li> <li><input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、第4～6学年の「季節の言葉」の中で短歌や俳句の紹介があり、年間を通して親しめるように配置されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、実生活を振り返って、学習課題を見つけていく単元が、第5・6学年において設定されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、第1学年の入門期では、絵を見て気づいたことを話す活動が設定され、第6学年では6年間で身につけた力を自ら振り返る活動が設定されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 情報の扱い方に関して、「情報」のマークがあるページに、単元と関連させて「考えるときに使おう」「調べるときに使おう」などと掲載している。</li> <li><input type="checkbox"/> 「話すこと・聞くこと」の学習では、具体的な話す内容が書かれた吹き出しが複数掲載されている。</li> </ul> <p>○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 学習の理解が深まるように、巻末に、「たいせつ」(要点)のまとめや読み物教材が掲載されている。</li> </ul> <p>≪各教科・種目独自の観点≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 各領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の資質・能力を育成するために、言語活動例を身近な題材と関わらせて設定している。</li> <li><input type="checkbox"/> 語彙を豊かにするために、巻末に「考えや気持ちを表す言葉」と「学習に用いる言葉」の一覧を掲載している。</li> <li><input type="checkbox"/> 読書活動の充実を図るために、各学年において「本は友達」の単元を2回設定し、内1回を図書館の活用について重点的に学習する構成となっている。</li> </ul>		
4 分量・装丁表記等	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 第1学年から第4学年までは上下巻の分冊、第5・6学年は1冊の合冊で編集されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 「全てのページについて専門家による校閲を行っています」と記載されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 「単元名や見出しには、ユニバーサルデザイン書体を使用しています」と記載されている。</li> </ul>		

【資料Ⅱ】

教科種目名 《国語（国語）》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	第3学年下38ページなど、各学年で語彙を広げることを目的とした「ことばあつめ」が設定されている。
学図	第4学年上54ページの「ほうこくしたいことを新聞でまとめよう」では、単元の学習の見通しがもてるよう単元全体の構造化を図っている。
教出	第2学年下51ページ「『クラスお楽しみ会』をひらこう」では、話し合いの活動時に使う言葉を「大事な言い方」として例示している。
光村	第3学年上82～84ページ「登場人物のへんかに気をつけて読み、感想を書こう」では、指導事項のポイントをまとめた後、今後の学習でどのように学習したことを活かしていくのかを紹介している。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	第4学年下24ページ、「聞いてほしいな、心に残っている出来事」では、重点となるところを「言葉の力」として整理している。
学図	図や表で示したり・イメージでマッピングしたりするなど、さまざまな思考方法・表現方法を取り上げている。
教出	第6学年下20ページ「『うれしさ』って何？－哲学対話をしよう」では、哲学対話の手法を具体的に示している。
光村	第3学年上15ページなど、各学年の「読むこと」の単元の扉があり、問や「これまでの学習」を掲載している。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	各単元において、何ができるようになるかを示している。第1学年上では、学習する集団づくりにつながる「仲間づくり」の言語活動から学習がスタートしている。
学図	各学年上、巻頭の「〇年生でつきたい力」では、各学年で育てたい資質・能力を一覧で示している。また、巻末の「〇年生をふりかえって」で1年間の学習内容を示している。
教出	第6学年下111ページ、「ひろがる言葉」では6年間の学習をふり返り、言葉がもつよさについて認識する学習を取り上げている。
光村	各学年、学習した内容のポイントを「たいせつ」と示し、今後の学習や生活に生かすことを「生かそう」と提示している。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

① [思いやる力] 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる上での題材例や工夫・配慮	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育など)	
東書	「思いやる力」に関連して、人との関わり合いや支え合いを描いた教材が複数ある。4年生以上に、戦争と平和について考えさせる題材の掲載がある。
学図	「思いやる力」に関連して、いのちの大切さ、生命の尊厳について考えさせる題材が各学年に取り上げられている。4年生以上に戦争と平和について考えさせる題材の掲載がある。
教出	「思いやる力」に関連して、コミュニケーションを育む教材や詩の題材で、友達の良さに目を向けるものを掲載している。4年生以上に戦争と平和について考えさせる題材の掲載がある。
光村	「思いやる力」に関連して、命の大切さ、生命の尊厳について考えさせる題材が、各学年に取り上げられている。3年生以上に戦争と平和について考えさせる題材の掲載がある。

②	[たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる上での題材例や工夫・配慮	
	(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力など)	
東書	「たくましく生きる力」に関連して、外国の生活や文化について知ることのできる題材を扱っている。パラリンピックを題材としている。	
学図	「たくましく生きる力」に関連して、食育、国際化、情報化について学年で段階的に掲載している。	
教出	「たくましく生きる力」に関連して、自分の考えや情報を伝達するために様々な媒体を活用する題材が設定されている。	
光村	第6学年68ページ「情報と情報をつなげて伝えるとき」など、「情報」のページが各学年にある。	
③	[社会とかかわる力] 社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献できる力を育てる上での題材例や工夫・配慮	
	(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動など)	
東書	「社会とかかわる力」に関連して、海外と日本に着目した題材が6年間の中に随所に取り上げられている。仕事や働く人に焦点をあてた題材がある。	
学図	「社会とかかわる力」に関連して、仕事や働く人にかかわる作品や題材が随所に取り上げられている。自分をよりよくする、地域をよりよくするといった改良・改善がテーマの題材が掲載されている。	
教出	「社会とかかわる力」に関連して、2～6年には、町のことや地域のことを調べる学習活動がある。世界遺産やAI、エネルギーなどの題材が掲載されている。	
光村	「社会とかかわる力」に関連して、各学年では、「話す・聞く、書く」の題材に、学校や地域のことが取り上げられている。	

### 3 内容と構成

○小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮

①	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	2年生以上では、学年の最初に「話すこと・聞くこと」の「対話」系統の小単元を設けている。	
学図	「読むこと」のてびきでは、原則見開きで内容を示し、学習過程の構造化を図っている。	
教出	見通しをもって主体的に学ぶことができるように「単元のとびら」を主要な単元に設定している。	
光村	各学年（2～6年）に対話のスキルを身につけることを目的とした「対話の練習」の単元を設定している。	
②	他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
	(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、小学校6年間や義務教育段階9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、子どもが学習を進めたり先生が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	他教科との関連や地域との連携が図れる教材を取り上げている。	
学図	多様な人々への理解や、尊重し合う心と態度を育てる教材を掲載している。	
教出	他教科での学習内容も視野に入れた単元を配置している。	
光村	相手の意見や立場を尊重する内容で、道徳的な学習とつながっている。	

○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮

<b>③ 言語能力の確実な育成に資する工夫や配慮</b>	
東書	第3学年上123ページ「司会の進行にそって話し合う」では、活動における基本的な進め方などを取り上げた「言葉の力」が設定されている。
学図	第3学年下92～95ページ「つながりを考えて書こう」、第6学年上98～101ページ「文章構成の効果を考える」など、レッスン「文章の書き方、まとめ方」のページが設けられている。
教出	第2学年下では、時間をの流れを表す言葉、第6学年下では、自分の意見を述べる時に使う言葉など、学年の発達段階に応じて、時と場に応じて使えるよう項目ごとに分けた、巻末付録「言葉のまとめ」が掲載されている。
光村	第2学年上34～37ページ「だいじなことをおとさずに、話したり聞いたりしよう」など、何をどのように学習するのかについて、学年の発達段階に応じた、「学習の進め方」が掲載されている。
<b>④ 伝統や文化に関する教育の充実に資する工夫や配慮</b>	
東書	第1学年下、88～91ページ、「むかしばなしをたのしもう」や、第5学年、142ページからの「和の文化について調べよう」など、昔話や食文化、伝統芸能など、複数の分野を取り上げるとともに、言語活動も異なる内容が設定されている。
学図	第3学年下、19ページ、「慣用句」、第5学年上、125ページ、「宇治拾遺物語」など、伝統や文化に関する教育の充実にについて、各学年ともに、教材の後に、学びを深めるための課題が掲載されている。
教出	第3学年下65ページ「慣用句」、第4学年64ページ「短歌の世界」とともに、各学年上巻・下巻共に「文化」として取り上げられている。
光村	第4～6学年の「季節の言葉」や「短歌・俳句に親しもう」のように、「季節の言葉」の中で短歌や俳句の紹介があり、年間を通して親しめるように配置されている。
<b>⑤ 体験活動の充実に資する工夫や配慮</b>	
東書	第4学年上57ページの「生かそう」では、校外学習や学校行事の体験を新聞にまとめる活動が示され学習したことを実生活で生かすよう示唆されている。
学図	第3学年下、「ミニギャラリーの解説委員になろう」、第5学年「物語の人物が答えます」など、実際に体を動かして感じたことをテーマに沿って書いたり、ある人物になりきって話したりする活動が設定されている。
教出	第3学年上、72～77ページ、「クラスの生き物ブックを作ろう」や、第6学年上、66～71ページ、「地域の防災について話し合おう」など、他教科の学習と関連させることで、高学年でも学習を体験的に深められる内容が設定されている。
光村	第6学年70ページ、「私たちにできること」など、実生活を振り返って、学習課題を見つけていく単元が、第5・6学年において設定されている。
<b>⑥ 学校段階間の円滑な接続に資する工夫や配慮</b>	
東書	第1学年の巻頭、入門期において、リズムカルな言葉や挿絵で、多様な表現を楽しめるようなページが設定されている。第6学年242ページでは、「君たちに伝えたいこと/春に」卒業を前に読んでほしい言葉として掲載している。
学図	入門期教材の「ことばとともだち」は教材を見開きで示し、児童の実態に応じて教材を組み合わせられるよう想定されている。第6学年下116ページ「学びに向かう」では、6年間の振り返る活動が掲載されている。
教出	入門期の学習において、生活科との関連させて、学習を進めることができるように設定されている。第6学年下111ページ「広がる言葉」では、6年間の学習を振り返る題材が掲載されている。
光村	第1学年上の「いいてんき」ではイラストを見て話す活動を設定し、第6学年234ページ「中学校へつなげよう」では、今までの経験を生かしたり振り返ったりする単元が設定されている。
<b>⑦ 情報活用能力の育成に資する工夫や配慮</b>	
東書	第2学年上12ページ「いくつ集められるかな」では、「書くこと」の小単元で、「付せんカード」や「情報カード」等、情報の扱い方が具体的に例示されている。
学図	第3学年上62ページ「いろいろな見方で分類しよう」では、思考を整理する方法が具体的な例とともに示されている。
教出	第6学年上145ページ「言葉のまとめ」など、情報を整理する際に必要な語彙や文型が一覧として掲載されている。
光村	第5学年巻頭では、学校での日常問題（委員会活動）を例に、問題解決のための情報整理の仕方を図解している。

⑧ 児童の学習上の困難さに応じた工夫や配慮	
東書	第1学年上78ページ「ちいさい やゆよ」では、つまずきやすい、拗音、促音、長音を手拍子の図と記号で解説し、入門期の学びをおさえる工夫がしてある。
学図	第3学年上78ページでは、説明的文章の構成の仕組みを表や図を用いて視覚化している。
教出	全学年で、着目ポイントをキャラクターが話して示している。使用する色の数を少なくしてページを構成している。
光村	第5学年40ページ「インタビューしよう」では、吹き出しを複数使い、話す内容が会話文で具体的に示されている。

⑨ ○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮	
東書	2年上154ページ「1年で学しゅうしたことばの力」など、前年度の学びがまとめて掲載されている。
学図	巻末に「言葉の部屋」「読書の部屋」、読み物教材などを掲載している。
教出	巻末には、「○年生で読みたい本」など、テーマごとに、図書が紹介されている。「言葉の木」などの題材や読み物教材が掲載されている。
光村	巻末に、「たいせつ」（要点）のまとめでついた力を確認するページや読み物教材が掲載されている。

⑩ 学習指導要領解説に示された言語活動例をもとに各領域（話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと）の資質・能力を育成するための題材としての工夫や配慮	
東書	第5年104ページ「問題を解決するために話し合う」では、重点化された指導事項に即した具体的な言語活動が設定されている。
学図	第6学年上16ページ「誓約書」など、題材名の前に焦点化されたねらいが書かれている。
教出	第4学年下36ページ「新スポーツを考えよう」など、言語活動の場面をイラストを用いたり、具体例を掲載している。
光村	第4年下36ページ「クラスみんなで決めるには」など、言語活動例を身近な題材と関わらせて設定している。

⑪ 語彙を豊かにするための題材としての工夫や配慮	
東書	第6学年268ページ「言葉の広場」など、「ことばあつめ」をきっかけとして、さらに語彙を豊かにするための題材が掲載されている。
学図	第2学年上8ページ「ことばビンゴをつくろう」など、言葉で遊んだり表現したりする要素を取り入れている。
教出	第3学年上98ページなど、文学的文章の後に、「ことば」を掲載し、その教材の中から言葉をピックアップしている。
光村	全学年の巻末で、「言葉の宝箱」で「考えや気持ちを伝える言葉」と「学習に用いる言葉」の一覧を掲載している。

⑫ 読書活動の充実を図るための題材としての工夫や配慮

東書	第4学年上100ページ「本は友達」など、様々な分野の著名人が、読書の良さを伝えている。
学図	第4学年上88ページ「物語のみ力をしょうかいしよう」では、ブックトークによる読書活動の単元を取り上げている。
教出	第6学年下101ページ「本をよもう」など、学習の要点とともに関連図書の紹介が掲載されている。
光村	第3学年上30ページ、100ページの「本は友だち」では、「図書館たんていだん」と「はじめて知ったことを知らせよう」が掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

① ○各内容の分量とその配分は適切であるか。

東書	第1学年から第4学年までは上下巻の分冊、第5・6学年は1冊の合冊で編集されている。
学図	全学年、上下巻の分冊で編集されている。
教出	全学年、上下巻の分冊で編集されている。
光村	第1学年から第4学年までは上下巻の分冊、第5・6学年は1冊の合冊で編集されている。

② ○体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮

東書	「カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮しています」と記載されている。
学図	「色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの人に見やすいように配慮して作成しました」と記載されている。
教出	「色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています」と記載されている。
光村	「カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の観点から、全てのページについて専門家による校閲を行っている」と記載されている。

③ ○文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮

東書	第1学年巻末の「あたらしくなったかんじ」では、漢字を大きく示している。「教科書用の書体を使用しています」と記載されている。「独自に開発した教科書用の書体を使用しています」と記載されている。
学図	第1学年巻末の「このほんでがくしゅうしたかんじ」では、「このほんでならうよみかた」と「あとでならうよみかた」を記号で区別している。「カラーユニバーサルデザインの校閲」と巻末の表紙裏に記載されている。
教出	第1学年巻末の「かん字をまなぼう」では、「いっしょにおぼえたいよみかた」を紹介している。「見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています」と記載されている。
光村	第1学年の巻末のこのほんでならうかんじ」では、漢字の書く数が記載されている。「本文には書き文字と差異の生じない書体を使用しています」と記載されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等の掲載	
東書	第2学年上の写真に県内の小学校の活動の様子が掲載されている。巻末表紙裏に学校名が掲載されている。
学図	第2学年下44ページ「水ぞくかんのしいくいん」では、県内の水族館の写真が掲載されている。
教出	第3学年下6ページの写真に、県内の標識の写真が掲載されている。
光村	第2学年上116ページ「どうぶつ園のじゅうい」では、県内の動物園の写真が掲載されている。

② URL、二次元コード等の掲載の有無	東書			学図			教出			光村		
	1・2年	3・4年	5・6年									
	無	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有

③ 一冊ごとの重量 (g)													
発行者名	総冊数	1年上	1年下	2年上	2年下	3年上	3年下	4年上	4年下	5年上	5年下	6年上	6年下
東書	10	274	310	297	311	313	313	313	313	517		517	
学図	12	247	235	253	245	289	266	287	275	311	292	296	289
教出	12	268	321	293	315	292	292	292	333	278	326	305	305
光村	10	243	246	275	286	280	281	286	293	509		529	